

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	新たな開発パートナーシップのためのシンポジウム開催		<b>担当部局</b>	国際協力局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度開始		<b>担当課室</b>	開発協力企画室		室長 横田 敬一		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	VI-1 経済協力				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項第1号(ハ)、24号及び同法第7条第1項		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「第4回援助効果向上に関するハイレベル・フォーラム」(平成23年11月開催)の結果を受け、新たなパートナーシップ構築の一環として、最近、南南協力の形で対外援助を増加させている中国等を含めた新興ドナーを巻き込み、多様なアクターが参加するシンポジウムを開催する。同シンポジウムにおいては、効果的な開発援助のあり方について、多様な開発アクターの間で意見交換し、MDGs達成に向けた包括的なアプローチについて国際援助コミュニティに対し提言を行う。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	シンポジウムの関内開催経費及び有識者招聘等に伴う経費							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	5	4	
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	5		
	執行額	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	成果目標:アジア主導のDAC地域会合を実施し、「成長を通じた開発」や「能力開発の重要性」等、我が国が常に主張してきた開発における方針を国際場裏で確認。 成果実績:シンポジウム参加国・機関数			参加国・国際機関数	-	-	-	15
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	シンポジウム開催経費負担 1回			回数	-	-	-	( 1 )
<b>単位当たりコスト</b>	(円/ )		算出根拠	平成24年度新規案件のため、算出不可				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	シンポジウム開催経費	3	1					
	有識者招聘経費	2	3					
	計	5	4					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本シンポジウムの開催により、特にアジアにおける新興国を含めた多様な開発主体が相互学習を行い、アジアの開発や成長の経験を共有・抽出すると共に、国際社会に対し我が国を含めたアジアの声を発信することを目的とする。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	予算に関しては、適切な使途で支出されたものが管理する。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	右目的の下、アジアの経験を地域フォーラムあるいは新たに設立されたグローバルパートナーシップ(OECD/DACとUNDPの共催)に発信されたことを成果とする。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>昨年、釜山にて開催された「第4回援助効果向上に関するハイレベルフォーラム」の結果を受け、新たなパートナーシップ構築の一環として、最近、南南協力の形で対外援助を増加させている中国等を含めた新興ドナーを巻き込み、多様なアクターが参加するシンポジウムを開催すべく、関係機関等と協議を進めている。</p>		
<b>予算監視・効率化チームの所見</b>			
	<p>事業について精査した結果、一部事業の縮小</p>		
<b>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</b>			
	<p style="text-align: center;">-</p>		
<b>補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</b>			
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	